



# めぶき園における 強度行動障害の取り組み ～地域での暮らしを目指して～

社会福祉法人 萌葱の郷  
障害者支援施設 めぶき園  
支援係長 能一 由起子

# 社会福祉法人 萌葱の郷 沿革



- 平成2年9月 社会福祉法人萌葱の郷 設立・認可
- 平成3年6月 知的障害者更生施設「めぶき園」設立
- 平成13年10月 こどもデイサービスセンター「なごみ園」開設
- 平成17年2月 大分県発達障がい者支援センター「イコール」開設
- 平成22年1月 ケアホーム「かわしま」開設
- 平成22年5月 就労支援施設「どんこの里いぬかい」開設
- 平成24年4月 公立犬飼保育園の民間移管にて  
「いぬかい保育園 いぬかい子育て支援センター」として運営開始
- 平成24年4月 こども発達支援センター「なごみ園」新体系に移行
- 平成25年2月 特定相談支援事業所「プラス」開設
- 平成25年5月 こども発達支援センター「大分なごみ園」開設
- 平成26年4月 障害福祉サービス事業所「どんこの里いぬかい」へ移行
- 平成27年4月 いぬかい保育園から「いぬかいこども園」へ移行
- 平成27年6月 こども発達・子育て支援センター「なかよしひろば」開設
- 平成29年5月 放課後等デイサービス「戸次なごみ園」開設
- 平成30年4月 「こざい保育園」開設
- 平成31年4月 「こざいこども園」へ移行
- 令和2年4月 「へつぎ保育園」開設
- 令和3年4月 こども発達・子育て支援センター「わくわくかん」開設



萌葱の郷ch アツシとあそぼう #6 「めぶき園のオリジナルTシャツを調査せよ」  
12 回視聴 · 11 時間前

高評価 低評価 共有 オフライン 保存

チャンネル萌葱の郷  
チャンネル登録者数 78人

登録済み



萌葱の郷ch アツシとあそぼう #6 「めぶき園のオリジナルTシャツを調査せよ」

# 障害者支援施設 めぶき園



※平成3年6月 社会福祉法人 萌葱の郷 めぶき園 開園

(旧) 知的障害者更生施設 30名

(男性24名・女性6名 ~ 9割が自閉症の診断)

※平成22年1月 (新) 障害者支援施設へ

※令和3年現在

【生活介護】 (40名定員)

【施設入所支援】 (30名定員/32名)  
(男性28名・女性4名)

【短期入所】 (4名定員)

【日中一時支援】



# 利用者の状況(生活介護)

年齢別利用者の状況(R3. 4. 1現在)



年齢	20	21	22	32	34	36	37	38	39	40	43	44	45	46	47	48	49	52	合計
男性	1	1	1	3	2	2		1	2	1	1	1	1	3	3	3	1	1	28
女性							1					1	1			1			4

平均年齢 40.1 歳

## 支援区分判定

	1	2	3	4	5	6
区分判定	0人	0人	0人	0人	3人	29人

区分平均 5.9

# 事例概要（基本情報）

Aさん 男性 30代



□平成29年5月 めぶき園 入所

□自閉スペクトラム症

□支援区分6（H30. 10～）、療育手帳 B2

□家族構成 父、母、本人、弟

□服薬状況

朝食後	昼食後	夕食後	就寝前
リボトリール1mg ロドピン25mg ヒルナミン25mg デパケンR300mg ミヤBM2錠 ストラテラ40mg	リボトリール1mg ロドピン25mg ヒルナミン25mg デパケン300mg ミヤBM2錠	リボトリール1mg ロドピン25mg ヒルナミン25mg デパケンR300mg ミヤBM2錠 ストラテラ40mg	リボトリール1mg ロドピン75mg ヒルナミン25mg ジプレキサ20mg フルニトラゼパム2mg



# 破壊行為・暴言・暴行

- ラジオ、CDプレイヤー、ライター、ペンなど私物の破壊行為
- ガラス、食堂のテーブル、椅子、便器、洗濯機、コンセント等  
園内の物への破壊行為
- お前、貴様、青二才、呼び捨て、バカなどの暴言
- 殴る、蹴る、唾吐き、掴みかかる、頭突きなどの暴行
- 昼夜問わず、非常ベルを鳴らす



# 生育歴



- ・乳児期～早産低体重児(36週、2,420g)で生まれる。
- ・幼児期～3歳でA県の保育園、4～5歳でB県の幼稚園に通う。
- ・学童期～小学1～2年はアメリカの小学校へ通う。  
3年生から国内のC県の小学校に通う。
- ・平成3年～4年生から大分県内の小学校・中学校に通い、卒業。
- ・平成9年～大分県内の私立高校に進学するものの転校する。
- ・平成10年～大分県内の他の私立高校に入学するが同年退学する。

# 受診・入院歴



- ・平成元年～学力不振のため学校からD病院の精神科受診を薦められ、半年程カウンセリングを受ける。
- ・平成3年～不登校になりE病院の精神科受診とカウンセリングを受ける。
- ・平成9年～高校・家庭でパニックになり器物破損が激しく、F病院受診と投薬開始。G病院思春期外来にて通院治療中に家庭での器物破損があったため、E病院に保護入院。
- ・平成10年～退院後、再び器物破損行為があり、E病院の紹介で別府市のH病院に医療保護入院。
- ・平成11年～H病院退院後、家庭での器物破損行為があり、E病院の紹介でI病院に医療保護入院。入退院を繰り返しながらデイケア通所。
- ・平成17年～デイケアにてパニックがあり、I病院にて紹介されたJクリニック通院中、家庭での器物破損行為でK病院に保護入院。1度退院し通院しながら某作業所に通所で利用する。しかし、家庭で器物破損行為があった為、医療保護入院。以降、平成27年8月まで過ごす。

# めぶき園利用の経緯



- 平成22年～大分県発達障がい者支援センターECOALへ初回相談。  
センター長が訪問・面談実施(断続的に)
- 平成23年～病院外への散歩や外出支援を開始。
- 平成24年～2月より1ヶ月に1回(1泊2日)でめぶき園の短期入所を  
利用開始。



# 短期入所開始時（H24年2月～）

- 開始当初～利用日数1泊2日 → 利用日数6泊7日  
病院で暴れない約束

- 短期入所利用について

本人 → 「余暇」「遊び」「気分転換にホテルに来たような感じ」と捉えている。



# その後の流れ

センター長による継続的な病院訪問・面談

「本人の行動」⇔ 障がいからくる特性だけではない

- ・自分の困りを解決する力が弱い
- ・気持ちをうまく伝えられない・表現できない

相手に理解されない

暴言・暴行・器物破損

専門の療育機関で適切な支援が必要



# 保護者の要望

- 本人に対する病院の対応に疑問や不信感

本人に将来的な希望を持たせてあげたい

過去に幹部の方との話しで入所についての話しがあったため

ルールは守らなければならないが・・・厳しくしないでほしい

厳しくすれば本人がかawaiiそう・また暴れて本人が嫌われてしまう

入所後の週末帰宅については不安

自宅に対応できる自信がない・一緒に暮らせない



# 受け入れから現在に至るまで

- 平成26年9月～強度行動障害処遇棟での受け入れ決定
- 平成27年3月～大分県と重度障害者等包括支援、大分市と支援区分について協議(2度判定不能、却下通知)
- 平成27年5月～支援区分認定調査で支援区分4の判定
- 平成27年8月～めぶき園強度行動障害処遇棟にて療育開始  
(短期入所14日／月、生活介護暦日－8日)
- 平成28年4月～めぶき園本館へ移動、8月～支援区分4へ
- 平成29年5月～施設入所支援支給決定、8月支援区分5へ
- 平成30年8月～支援区分6へ

# 病院は嫌、めぶき園がいい



利用回数を重ねる・・・めぶき園は自由にできる場所

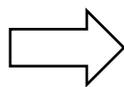
- 職員の立場 → 「自分は利用者ではなく職員側である」という感覚
- 周囲の状況が読めない → 自分のペースで他者と関わる
- 気分屋・都合主義 → ごまかす・嘘をつこうとする
- 自分の方が優位 → 女性職員や年下の職員に対して自分優位の発言をする

# 課長・係長等での話し合い（H27年12月～）

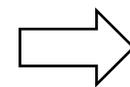


- ・めぶき園入所から4ヶ月 ⇒ 大きな問題もなく過ごせていた

支援しやすい安心感



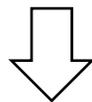
職員の間



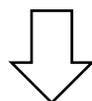
課題行動

## なぜ課題行動が出るのか？

本人の内なるもの（思い通り行かない・気になるなど）



自身で気持ちを落ち着かせようとしたとき



方法となるものがない（タバコ・CDラジカセ等）

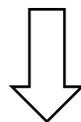
どうしようもない状態



# 本人との面談

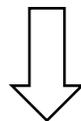
- ・本人と面談

めぶき園で過ごすために必要なものは何か

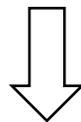


CDラジカセ・髭剃り・充電式電池・卓上時計・電卓・歯磨き粉・本(火花)

そのまま渡すと



特別に貰えた・壊してもまた貰える・新しいものを買ってもらえる



めぶき園から貸し出す＝壊したらもうない

・シール評価を行い達成感を味わう



# シール評価

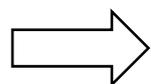
- 本人が自分の物と勘違い → 「園より貸し出している」という意識付け

借り物一覧の作成



借りている物の一覧・新しいものは買わない

貸し出し品の買い取り



シール評価

『暴れない・壊さない』

毎朝、朝食後に宿直者と評価を行う(1日1回評価)

・シール1枚100円分

・守れなかった場合の×はつけない

(例) シェーバーは2,100円

シール21枚分(21日分)

# シール評価表

暴れない・壊さない



- 「暴れない・壊さない」が約束です
- 朝食後に職員と一緒に確認してシールを貼ります
- シールは1枚100円です
- 壊しても新しい物はありません

電気シェーバー  
2100円分

1枚100円

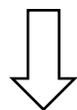
壊しても新しい  
ものはない



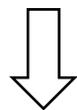


# 結果

- シール評価を取り組みだしたことで、徐々に落ち着き始める  
(まだまだ課題行動があり職員対応の機会も多い)



- シール評価を気にするようになってきた  
(課題行動が出た後はシールが貼れるか職員に確認する)



- シール評価が負担になると言うこともある  
(どうせ貼れないからと自暴自棄になる)



# ケース会議

- 検討事項
  - 暴力・破壊行為の背景(いつ・どこで)
  - 原因
  - 対応の方法
- 合意事項
  - 本人との話しは分かりやすく説明する(文字化する)
  - 感情的にならず、穏やかに接する
  - 暴力・破壊行為時には、職員数名で落ち着くまで対応する
  - めぶき園以外の職員が宿直をする際に課題行動が多いことから、宿直はめぶき園の男性職員が行う
  - 課題行動が出た際の宿直明けの勤務を軽減する
  - シール評価について



# シール評価の見直し(H28年8月～)

・評価内容の見直し～新しい目標で取り組みたいとの要望

- ①活動に参加する
- ②昼食後の食堂清掃に取り組む
- ③友達と仲良くする
- ④暴れない
- ⑤物を壊さない

・シール1枚200円に変更

・本人のモチベーションアップ(購入物の幅が広がる)

・壊したものは一緒に片付ける

・職員だけで片付けるのではなく、本人と一緒に片付ける

# シール評価表



シール評価表 9月分前半

日付	活動に参加する	昼の 食堂掃除	友だちと仲良くする	暴れない	物を壊さない	シール	
	○	○	○	○	○	●	200
	○	○	○	○	○	●	400
6日							
7日	△	○	○	○	○	●	500
8日	☺	☺	☺	☺	☺	●	700
9日	○	○	○	○	○	●	900
10日	○	○	○	○	○	●	1100
11日	△	○	○	○	○	●	1200
14日							
15日							

午前は活動参加したが、午後は不参加のため、△

シールの貼れない日



# 月1レクリエーション(H28年2月～)

- 毎月第1土曜日

- ・毎月のお小遣い4,000円 + シールで貯めた金額  
(H28年9月～)

ハーモニカ・ミニカー・ラジカセ・CD・キーホルダーの購入  
カーディーラーで車のカタログをもらう

音楽鑑賞やハーモニカを吹いて楽しむ様子も見られ、穏やかに過ごす日が増えつつあったが...

持ち物に不具合が起きると破壊行為へ

# 地域での暮らしを目指して 買い物を通しての取り組み



- ①「金額内で何が買えるのか」を検討する。
- ②自分でお店に電話をして注文する。
- ③購入物の管理。
- ④小遣い帳の記入。



# 取り組みと課題

①「金額内で何が買えるのか」を検討する。

- ・ブランド志向であり、高いものを好む。
- ・必要なものであっても買いたがらず、100円ショップで購入し、すぐに壊れてしまう。
- ・購入物の目標金額になると活動不参加になる。
- ・購入と破壊を繰り返したことで、買いたくなくなる。
- ・欲しいものが分からなくなる。



# 取り組みと課題

## ②自分でお店に電話をして注文する。

- 電話は話時間に関係なく1回10円。
- 最初に電話対応した人や、名刺をもらった人でないといけない。
- 「折り返し電話します」と言われても「このまま待ちます」と言い電話を切ることが出来ない。
- 折り返しの電話が来るまで次の行動に移れない。待てない。
- 自分の気分で予約とキャンセルを繰り返す。
- 「こっちは客だ！」とトラブルになることも。



# 取り組みと課題

## ③購入物の管理

- 購入直後は、活動や入浴、睡眠時間も忘れ、夢中になってしまう。
- ハーモニカなど長時間の使用により不具合や、ラジカセの音飛びを気にして破壊してしまう。
- 自分の思い込み(曲がっている気がする等)で破壊する。
- 衝動が抑えられず、壊れていないものまで壊してしまう。





# 取り組みと課題

## ④小遣い帳の記入

- 必要な文房具(のり、修正テープなど)を持っておらず、職員から借りる。→職員の私物であり、同じ人に何度も頼む。
- 記入されている金額と合わなくなる。
- 金額が分からなくなる。
- 電卓やメモを信じられない。
- 小遣い帳をしまい込んで見つけられなくなる。



# 課題と対応

- 職員とのコミュニケーションを通じて提案する。
- 無理強いはしない。
- 本人の経験を通して学んでもらう。経験を踏まえて話をする。
- 壊しそうなときは、事務所で預かる。

# 事例（令和3年度）



## 概要

- ・某月1日。小遣い支給日。買い物日まで3日。
- ・プジョーに電話連絡し、予約していたキーホルダーをキャンセルする。
- ・キャンセル後のお金で楽器店にハーモニカを着払いで園に届くように注文しようとするが、キャンセルした金額ではハーモニカの値段、送料、代引き手数料が足りないため購入できないと判断し電話を切る。
- ・「取り置きしたらいいよ」と説明。再度、楽器店に電話をかけるが出ないことでイライラし始める。
- ・「なんで出らんのか！」と声を荒げ、畳を叩く。

# 事例



## 概要

- ・「もう買い物行かんでいい！」 → 興奮状態で  
他に予約していた物もキャンセル
- ・全てをキャンセルしたことで何を買っていいのか分からなくなる。
- ・小遣い帳にあったレシートを見て、以前購入したラジカセを選び  
電気屋に電話し、予約する。  
→ 我に返ったように「何頼んだっけ・・・？」と放心状態に。
- ・30分ほどするとラジカセをキャンセルしたいと言い始め、再び状態  
が不安定になる。

# 事例

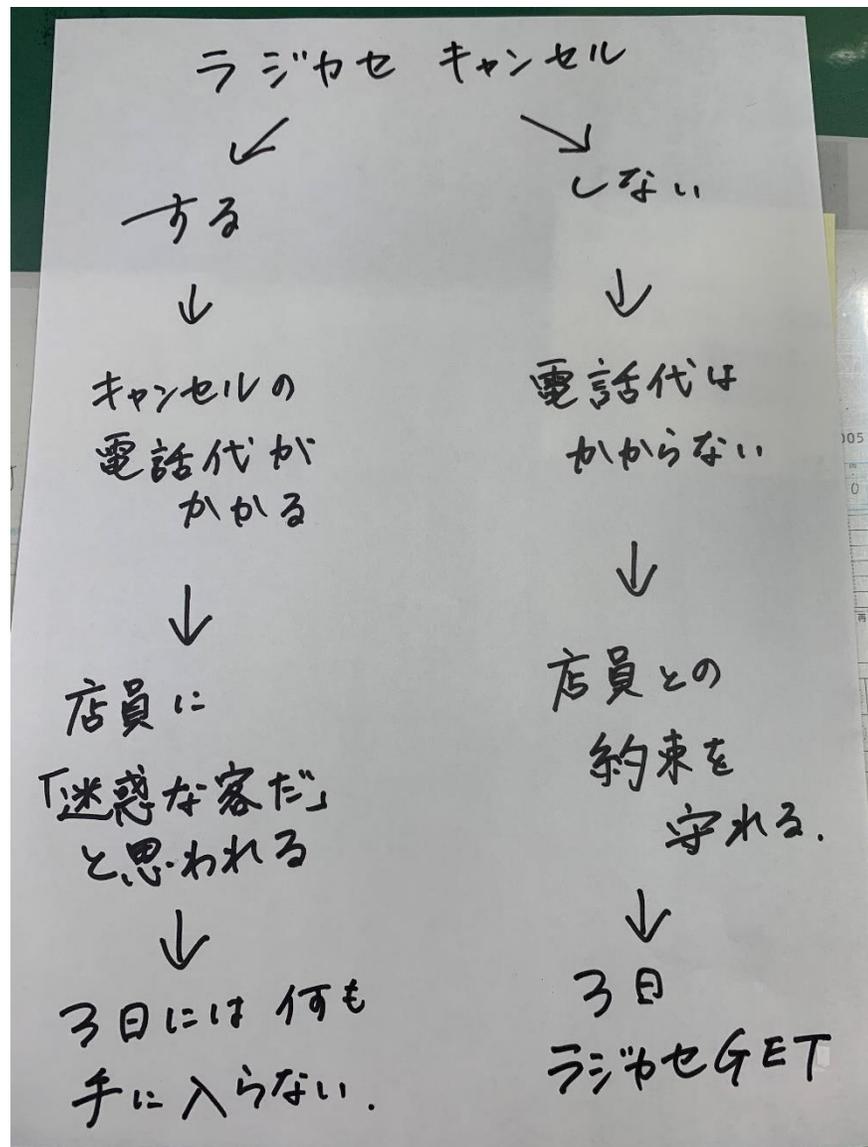
## 対応

- ・なぜキャンセルするのか？ → 「どうせ投げて壊すんや！」
- ・これまで通り、投げそうになったら事務所に持ってきたらいいよ  
→ 徐々にトーンダウンしていく。
- ・ラジカセは本当に欲しいものなのか？ → 「わからない」
- ・購入した場合とキャンセルした場合を説明する。  
→ 「やっぱり買うわ」「オールナイト日本聴けるな」楽しみにになる。



キャンセルした場合と  
しなかった場合に起こることを  
視覚的に説明する。

店員がとる手間、行動を  
具体的に説明。



○日の◎時に取りに  
行きます。



# 事例



## その後の様子

- ・3日(土)～電気屋へ行き、ラジカセを購入。外出時は機嫌よく過ごす。
- ・4日(日)～23時ころ「捨てたい」、ボタンとコンセントの不具合を訴える。→職員が確認し、問題ないことを告げる。事務所で預かることを提案するが、拒否している。
- ・5日(月)～布団を敷く際にアンテナにあたり、「アンテナが壊れた」と言いに来る。職員が確認。不具合は見られず、問題ないことを告げるが「どうすればいいん？」と落ち着きない。具体的に説明し問題ないことを繰り返し伝える。

# 事例



## ・6日(火)～「完全に壊れた！」

「色鉛筆ケースの上に置いた。磁石があるから壊れた！」

「職員Xにも言われんや！」というが、職員Xは「色鉛筆ケースの上に置くと安定しないので、置かない方がいい」と言ったただけであった。

職員Yが「わかったよ、じゃあ捨てようか」と話すと処分しに向かうが廊下を歩きながら「ほんとに大丈夫かなあ」と本人が言ったタイミングで問題ないことを再度詳しく説明すると、自ら居室に持って戻っている。

# 事例



- ・7日(水)～「今日はラジオを聞きたいけん入浴せんけん」  
看護師より「お風呂に入ってください」と言われると「もういい」と居室からラジカセを持ってきて処分している。そのまま居室に戻る途中で非常ベルを押し、看護師に向かって「こいつが悪いんや！」と暴言を吐く。  
他の職員を呼び捨てにしたり「ライターをよこせ！」と事務所に押し入ろうとすることやドアを蹴る、職員を殴ろうとする、ガラスを叩こうとする。

# 事例

対応：居室で話を聞く。紙とペンを準備。



紙に書くことを提案するが「書かんでも言える」 → 言葉が出ない。

職員：ここ数日、落ち着かないようだけど何が原因なんだろうね。何かあるから、他の利用者さんに向かって言ったり、看護師さんに言ったりしてるんじゃないかな？職員間でアレが気になってるんじゃない？ってのがああるけど、言ってもいい？  
→ コロナワクチンについての話を出すと、黙って頷いている。



# 事例

涙ぐみながらワクチン接種について

「看護師さんに「大丈夫だよ」って言ってほしかったんや。俺が不安な気持ち分かってくれると思ったんや」

職員

気持ちを受容し、

「きちんと言葉で言ってもらわないと分からないよ」

「今みたいに言ってくれと、職員もあなたの気持ちが分かるので助かる」

→ 以後、落ち着いて過ごす

# 考察



## 本人像の理解不足

- ・本人の特性を理解してないまま対応していたことで関係の悪化・不信感

## 本人の思いへの対応

- ・行動の裏側を読み取る
- ・折り合いを付ける
- ・時間をかけて話をする
- ・譲れないところは譲らない

## 言葉で伝えられない時には紙に書いてもらう・書いて説明する

- ・対応時に紙とペンを準備し、気持ちを書いてもらう

# まとめ



○早期療育の大切さ

○発達障がい者に対する適切な支援

○地域で生活するために必要なスキルを身につける

○スモールステップで途切れない支援を継続



ご清聴ありがとうございました。